

緊急救援 トルコ大地震

最終更新日2002年3月7日

トルコ大地震活動報告	これまでの流れ(活動経過)
1999.8.24-9.5 先遣隊現地レポート 9.25-10.4 第2次救援チーム報告会資料 トルコ北西部大地震・緊急救援委員会報告書(中間まとめ) 11.27-12.10 第4次派遣団帰国報告 2000.2.7-2.28 第5次派遣団帰国報告 2002.2.11-18 第6次派遣団帰国報告	被災地周辺地図 これまでの流れ(地震発生～99年10月末まで) これまでの流れ(99年11月～)

■2002年3月7日 第6次派遣団の報告書を掲載

■2002年1月28日

昨年12月28日のニュースレターでお知らせした、デリンジエ市「草地文化センター」完成を記念しての第6次派遣団は、村井委員長、草地とし子さん、事務局より1名と有志3名の6名で訪問することとなりました(うち2名は、常任委員会で承認され委員会からの派遣と致します)。99年の地震発生から2年を過ぎ、第5次派遣から約2年ぶりの派遣となりましたが、草地文化センターが建設されているデリンジエ市の状況を中心に、被災地の状況を視察してきます。

<第6次派遣団の目的>

今派遣団は、「草地文化センター」の完成式への出席が大きな目的となっていますが、追加支援も含めたセンターの今後の運営についての協議も課題の一つとして上げられます。

今後の運営に関しては、草地さんが「住民主体の運営」を支援に際し再々訴えていました。昨年末、来日していたNGOs KOBE イスタンブールの2人も完成後の運営について懸念していましたが、様子を見守っていきたくて語っていました。

現在、トルコの被災者の多くは仮設住宅での生活を余儀なくされています。KOBEの仮設住宅では「ふれあいセンター」を利用して様々な文化的、芸術的活動が行われたように、トルコの仮設住宅でも主に女性を中心に手芸品の作成などが、色々な仮設住宅で行われています。今後デリンジエ市においては、「草地文化センター」を拠点として「文化的、芸術的な活動」さらには「しごと」「自立」そして「憩い」の「場」となるものとして期待されます。また、来日経験もあり当委員会が見守りを宣言した「愛と望のデント」の子どもたちは、センターに欠かせない存在としてセンター内の一室を使用することになります。

当委員会としては、建設支援だけで終わらず、運営方法についての協議や「草地文化センター」がデリンジエ市民に有効利用されるためのソフト支援なども視察中に考えていく予定です。

帰国予定は、2月18日(月)となっております。帰国後、みなさまにはニュースレターで視察の様をご伝えいたします。

■募金の振込先■

郵便振替 口座番号 00970-7-39728
加入者名 阪神大震災地元NGO救援連絡会議
※通信欄に「トルコ地震支援」「NGO災害救援金」「活動資金」とお書き下さい。
※トルコ北西部大地震救援活動を支援

■「NGO災害救援金」について■

以前から行っている救援活動と、今回のトルコ地震と重なってしまうと、それぞれの支援が不十分になってしまうことも十分に考えられるため、委員会の責任において柔軟に送金ができる仕組みとして「NGO災害救援金」として同時に呼びかけたいと思いますので、トルコの救援活動と合わせてよろしくご支援のほど、お願いいたします。

トルコ北西部地震・緊急救援実行委員会

「集まれ!! 学生ボランティア'99」実行委員会、アジアボランティアセンター(AVC)、ACA・アクア、アートエイド・神戸、エイディアイ災害救援研究所、FMわいわい、NGO外国人救援ネットワーク、関西NGO協議会、ぐらするーつ、グローバル・スクール・プロジェクト、ケーブルネット鈴鹿、神戸アジアタウン推進協議会、神戸華僑総会、神戸学生青年センター、神戸元気村、神戸国際協力交流センター、神戸定住外国人支援センター、神戸YMCA、神戸YWCA震災復興委員会、コープこうべ、国際ロータリー第2680地区、災害救援専門チャンネルQネットコミュニケーションズ、災害救援ネットワーク北海道、災害救援ボランティアネットワーク鈴鹿、在日韓国YMCAアジア青少年センター、市民活動センター・神戸、市民とNGOの防災国際フォーラム実行委員会、震災がつかぬ全国ネットワーク、震災から学ぶボランティアネットの会、震災を生きる宗教者のつどい、新日本宗教青年会近畿連盟、須磨青空元気フェスティバル実行委員会、たかとり救援基地、東京レスキューバイク、都市生活地域復興センター、とちぎボランティア情報ネットワーク、新潟よろず医療奉仕団、日本ガーディアン・エンジェルス、日本バプテスト連盟震災現地救援委員会、阪神大震災地元NGO救援連絡会議、被災者・市民フォーラム、被災地NGO協働センター、被災労働者ユニオン、百番目のTシャツ、兵庫県国際交流協会、兵庫県学生ボランティア協議会、ピースボート、まちづくり計画研究所、後援アユス(仏教国際協力ネットワーク)、神戸市市民活動支援課、国際ボランティア学会、シネヌーヴォ、しみん基金・KOBE、全日本仏教婦人連盟、東京災害ボランティアネットワーク、トルコ復興支援実行委員会、みなど銀行、ゆめ・風基金(1999年11月13日現在)

連絡先 **トルコ北西部地震・緊急救援実行委員会** ngo@pure.ne.jp
兵庫県神戸市兵庫区中道通2-1-10 被災地NGO協働センター 1F 〒652-0801
TEL:078-574-0701 FAX:078-574-0702